

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名 (公民館読み聞かせ事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (020201000619), 所属課 (090601), 生涯学習課, 政策体系 (総合計画の施策名 O202, 生涯学習・芸術文化活動の推進), 予算科目 (01, 10, 06, 02, 03, 00), 事業期間 (単年度繰返し), 法令根拠.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (公民館において、ポスターを製作し、保育所・幼稚園児・小学校低学年に配布、読み聞かせボランティアが月1回実施している。), ②担当が行う業務の内容・やり方・手順 (毎月「おはなしのひろば」「おはなしの小箱」「読み聞かせの会たんぼ」の原稿・ポスター作り(チラシ)の印刷・各小中学校への配布・館内掲示・アンケートの集計 報償費の支払).

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段 (公民館), ④活動指標 (実施回数), ②対象 (岩瀬・大和・真壁地区), ⑤対象指標 (保育所・幼稚園児数, 小学校低学年児童数), ③意図 (本に親しむきっかけとなり、本を通して親子のふれあい、地域との交流が図られる), ⑥成果指標 (「本に親しむきっかけとなった」と答えた率). Includes data for 29, 30, 01, 02, 03 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts for 29, 30, 01 years. Columns include 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計(A), 正規職員従事人数. Includes a section for 期間限定総投入量.

30年度事業費実績 (千円)

01年度事業費 予算 (千円)

Table comparing 30年度実績 (19 負担金補助及び交付金 60) and 01年度予算 (19 負担金補助及び交付金 60). Includes a 合計 row.

(4) 当該年度の実施内容

Table with columns for 01, 02, 03 years of implementation content. Includes a note: ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する. Lists: 主要事業, 市長マニフェスト, 未来PJ事業, 合併建設計画事業.

事務事業名	公民館読み聞かせ事業	事務事業No.	20201000619	所属課	生涯学習課
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 子どもたちの活字離れが叫ばれ始め、本に親しみを持ってもらうために始まった。保護者及び子どもたちも、参加する意欲が出てきているし、読書が好きになってきている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 月に1回の読み聞かせを楽しみにしている。また、子どもの親同士のコミュニケーションを図ることができる。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 政策体系の豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくりに結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 本を読む人口が増え、読書推進につながる
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 現状で幼児から小学校低学年児童まで対象として実施しているが、月1回程度の実施であり、回数を増やすことで参加者が増える可能性はある。ただし、読み聞かせボランティアの団体・人数を考慮すると、現状ではすぐに増やすことは難しい。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 子どもたちの本に対する興味が希薄となる。また、地域と子ども達との交流機会がなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はあるが、読み聞かせを主としての活動はないため、統廃合や連携は難しい。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ボランティアによる事業であるため削減できない
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 無償で行っているため、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ⇨	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 乳幼児が本への興味を示すように、今後もボランティアの方々との協力を得ながら継続をしていく。現在、スキルアップ朗読講座等の実施により朗読ボランティアの育成を図っており、講座受講生が読み聞かせに参加するなどにより実施回数を増やせる可能性はある。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 読み聞かせを実施する団体・ボランティアの育成が進まなければ回数を増やすことが難しい。朗読講座による人材育成などにより、長期的な視点で取り組む必要がある。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ② コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------